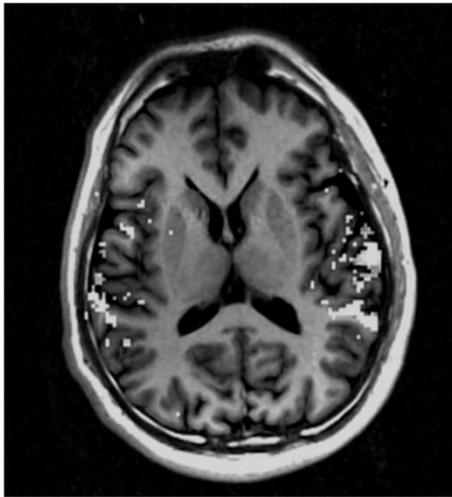


## 1990: fMRI (機能的MRI) の原理発見



fMRI画像例  
(聴覚刺激)

1990年、米国ベル研究所の小川誠二博士は、血液中の酸素濃度に依存して血液の磁化率が変化することを発見した (BOLD (Blood Oxygenation Level Dependence)効果と呼ぶ)。この効果を利用したfMRI(機能的磁気共鳴断層撮像)により脳の機能を画像化することが可能となった。非侵襲的に脳の機能が見えるこの方法は、医学だけでなく脳科学や心理学といった広い分野において使われている。

発表論文: Brain magnetic resonance imaging with contrast dependent on blood oxygenation: Proc. Natl. Acad. Sci USA 87 (1990) pp 9868-9872